

平成31年(2019年)4月25日(木曜日)

## 同行市議の報告書写す

三島市議、17年の視察

三島市の土屋利絵市議(46)は改革みしまⅡが2017年10月に岡山県総社市を視察した際の報告書が、同行した堀江和雄市議(57)は公明Ⅱの視察報告書とほぼ同じ内容だったことが25日までに分かった。土屋市議は「公明議員の視察に同行させてもらったという意識で、考え方も同じだったので報告書の内容も一緒に構わないと思っただけ」と認めた。23日に新たな報告書を出した。

視察は総社市が進めるひきこもり支援事業の調査が目的。2人の報告書は視察の概要と所感が記され、文言や文章の構成などはほぼ同じだった。堀江市議は「データなどで参考になると思い、メールで報告書を送ったかもしれない」と語った。

三島市議会は、収支報告書に視察報告書を添付して提出することを義務づけている。鈴木文子議長は「違う会派で同じ報告書というのは、問題を指摘された上で、「全ての報告書をチェックするのは実務的に不可能。性善説に立たざるを得ない」と話した。